



夏休み前から取り組んできた合奏曲を練習する児童ら＝加西市民会館

九会小児童ら 科学的な視点から学ぶ音楽

9月14日、九会小学校の5、6年生92人と北条高校吹奏楽部を対象に、「音と科学」をテーマにした世界的指揮者の西本智実さんによる授業が行われました。合奏曲「アフリカン・シンフォニー」を、西本さんやプロ奏者から指導を受け、保護者らに披露しました。鍵盤ハーモニカを担当した児童は、「教わったとおりみんなでタイミングを合わせると音が揃って、練習前と音が変わった」と話しました。



グループ（レッツゴークラブ）で作成したこけ玉を鑑賞する来場者

芸術の秋 「文化展」を開催

10月5～7日、加西市シニアクラブ連合会（山下光昭会長）主催の「第23回文化展」がアスティアかさいで開催されました。油絵を出品した岡田正徳さん（北条町東南）は「10年前から絵を描き始め、地元の風景を半年かけて制作しました」と話しました。
絵画や手芸など5グループと80人による作品、約130点の展示があり、期間中には約600人が来場しました。



写真や浮彫が履いていた下駄を再現した展示を鑑賞する来場者

広く知ってもらいたい 青野原俘虜収容所写真展

9月21～29日、富合地区ふるさと創造会議「ももこの11」（仲井正人会長）主催により、青野原俘虜収容所写真展が加西市民会館で開催されました。第1次世界大戦時に地元住民と俘虜たちとの交流を記録した写真を約100点展示。期間中には約700人が来場し、興味深く鑑賞していました。仲井会長は「加西市で俘虜を大切にしていた事実を、世界にもっと広く知らせたい」と熱く語りました。



茶の湯について山田宗久氏（右）から説明を受ける参加者

茶の湯と秋の夕べを満喫 加西観月茶会

9月16日、加西市茶道協会が主催するお茶席が、いこいの村はりま（笹倉町）で開催されました。裏千家の山田宗久社中により、気軽にお茶を味わってもらうため立礼席で行われ、播磨農業高校茶道部の生徒がボランティアで接待しました。約200人が参加され、場内に流れる琴や尺八の音色を聴きながら、茶の湯のわびさびを楽しみました。
同日、外では夕方から秋の美しい月を眺めることができました。



来年の再会を約束し笑顔で記念撮影

「東京加西会」総会 ふるさと談義に花咲かす

10月14日、関東地区在住の加西市出身やゆかりのある方々が集う「東京加西会」（後藤基廣会長）が、KKRホテル東京で開催されました。総会に35人の会員が集い、再会の喜びを共有しました。加西出身でアルト歌手の竹本絵里子さん、伴奏ピアニストの真島圭さんの歌とピアノのコンサートが行われました。
また、総会の前には、北条高校同窓会東京支部会も開かれ、旧交を温めました。



大切に育てたブドウとスムージーを手にする播磨農高の生徒たち＝アスティアかさい

播磨農高生が育てたブドウ スムージーでPR

9月18日から10月下旬まで、播磨農業高校の生徒が大切に育てたマスカットベリーAを使用したスムージーを、アスティアかさい1階にあるクレープ店「ばくにもクレープ」で販売しました。ベリーAのおいしさを知ってもらい、加西の特産品を守る思いから企画を進めました。生徒たちは「ベリーAのおいしさがそのまま楽しめる。多くの人に飲んでもらい、さらに知ってほしい」と笑顔で話しました。



手話で「LOVE YOU」を伝える同協会の皆さん＝アスティアかさい

毎年9月23日は 「手話言語の国際デー」

9月23日、「聞こえない家族の中で唯一聞こえる少女の物語」の映画『Coda あいのうた』上映会をアスティアかさいで開催しました。9月22～29日に、アスティアかさいの南側が青色にライトアップされました。青色は世界ろう連盟や国連のロゴの色で、平和を表しています。加西聴覚障害者協会と手話サークルどんぐりの皆さんは、「手話は言語」という認識がさらに広がることを願いました。



5班に分かれて講師（右）から手話ダンスを教えられる児童たち

下里小4年 手話ダンス 伝える難しさを実感

9月10日、下里小学校で4年生の児童36人に、手話ダンス教室が行われました。講師に昨年全国手話ダンス甲子園で3位に輝いた「チームフクシン」（福岡市の）5人を招き、5班に分かれて練習した後、班ごとに発表しました。
手話ダンスを通じ、児童たちは伝えることの大切さを学びました。小田凧紗さんは「手の向きを少し変えるだけで意味が変わり、それが繊細で難しかった」と話しました。



畑の中から芋を掘り出し笑顔の園児

賀茂幼稚園で芋掘り 「たくさん収穫できたよ」

10月9日、賀茂地区ふるさと創造会議（衣笠利則会長）協力のもと、賀茂幼稚園の1～5歳児37人が、園庭の畑でサツマイモを収穫しました。今年の5月に同会議協力のもと、つるを挿し育ててきたもので、園児たちは夢中で芋掘りを楽しみました。収穫した芋を年長児が計量すると、合計115本、最重量425g、最長21cmでした。
収穫した芋は、給食やおやつで美味しくいただきます。



バレーボールを使った運動を児童に教える大山さん

元Vリーガー大山未希さん 富田小で体育授業

10月8日、スポーツ庁が実施するアスリート全国学校派遣「アスリートリーチ」として、元Vリーガーで元プロビーチバレー選手の大山未希さんが、富田小学校4～6年生61人に体育の授業を行いました。高橋朋哉さんは「協力することや自分たちで考えることをしっかりと生かしていきたい」と話しました。児童たちは、ボールを使った運動をすることで、身体を動かすことやチームワークの大切さなどを学びました。



自分たちで植えた稲を鎌で刈り取っていく児童たち

富合小3年 稲刈り体験 農業への理解を深める

9月13日、富合小学校の3年生21人が山枝町内の田んぼで、株式会社西脇農園（玉野町）協力のもと、稲刈り体験を行いました。5月に児童たちが植えた稲は立派に実り、鎌で一株ずつ丁寧に収穫しました。谷口祥麻さんは「鎌で刈るのは硬くて大変だったけど、とてもいい体験ができた」と笑顔で話しました。
この稲刈り体験は今年で3年目。収穫したお米は、おにぎりにして食べました。



練習の成果を披露し観客から拍手が送られる播磨農高生ら

播州歌舞伎発祥の地 東高室で播磨農高生が熱演

9月29日、播州歌舞伎発祥の地、西福寺（北条町東高室）で、播磨農業高校の郷土伝統文化継承クラブが、「義経千本桜～吉野山静忠信道行の場～」を上演しました。
東高室の伝統文化の継承と住民の交流を目的として、西福寺の後藤太作住職が昨年に引き続き企画を行いました。
地域住民だけでなく高齢者や子どもを含む約100人が集まり、伝統芸能を楽しみました。